

三陸はるか沖地震

液状化発生



地震の概要

発生日時 1994年12月28日21時19分

震度 マグニチュード 7.5

被害状況 地震によるゆれで、青森県を中心に死者3名、負傷者788名、家屋の全壊72棟、半壊429棟、道路の損壊102箇所、港湾漁港の被害87箇所等の被害が発生した。

※地震の概要は気象庁「験震時報 第64巻 平成6年（1994年）三陸はるか沖地震の概要の内容を編集

※災害状況図は「平成6年 三陸はるか沖地震災害調査図」を編集

地震のゆれで、家屋倒壊や液状化などの被害発生したよ。

被害があった場所はどのような土地の成り立ちだったのかな？

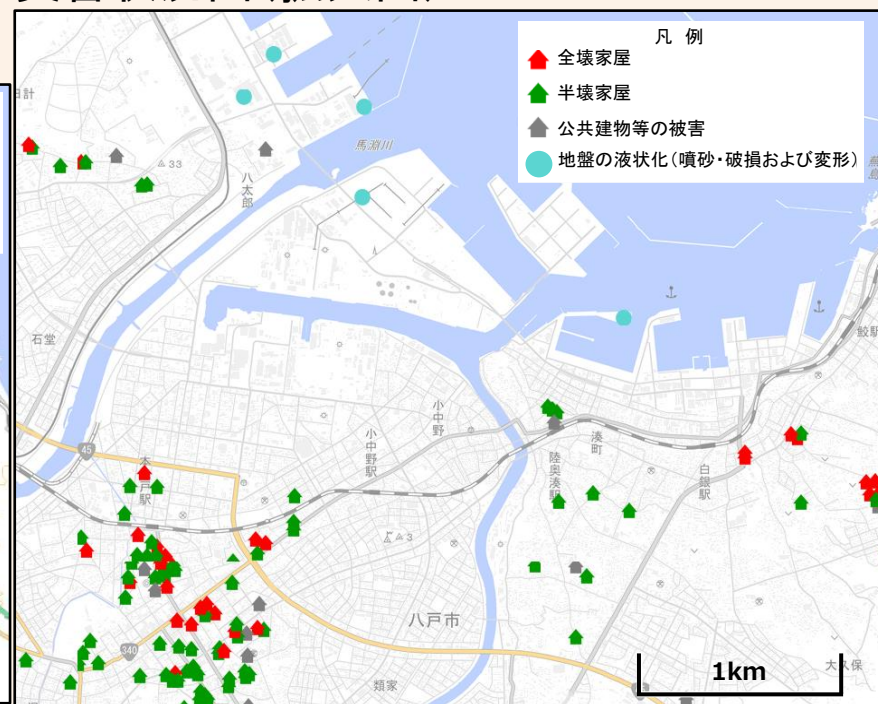
いろいろな地図と重ねて、考えてみよう！



災害状況図



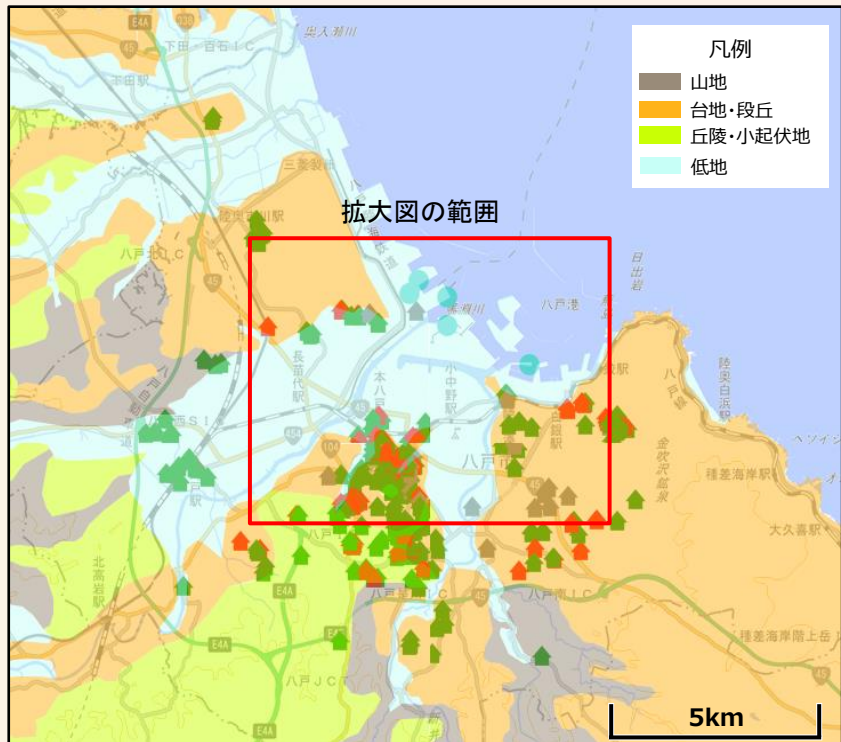
災害状況図(拡大図)



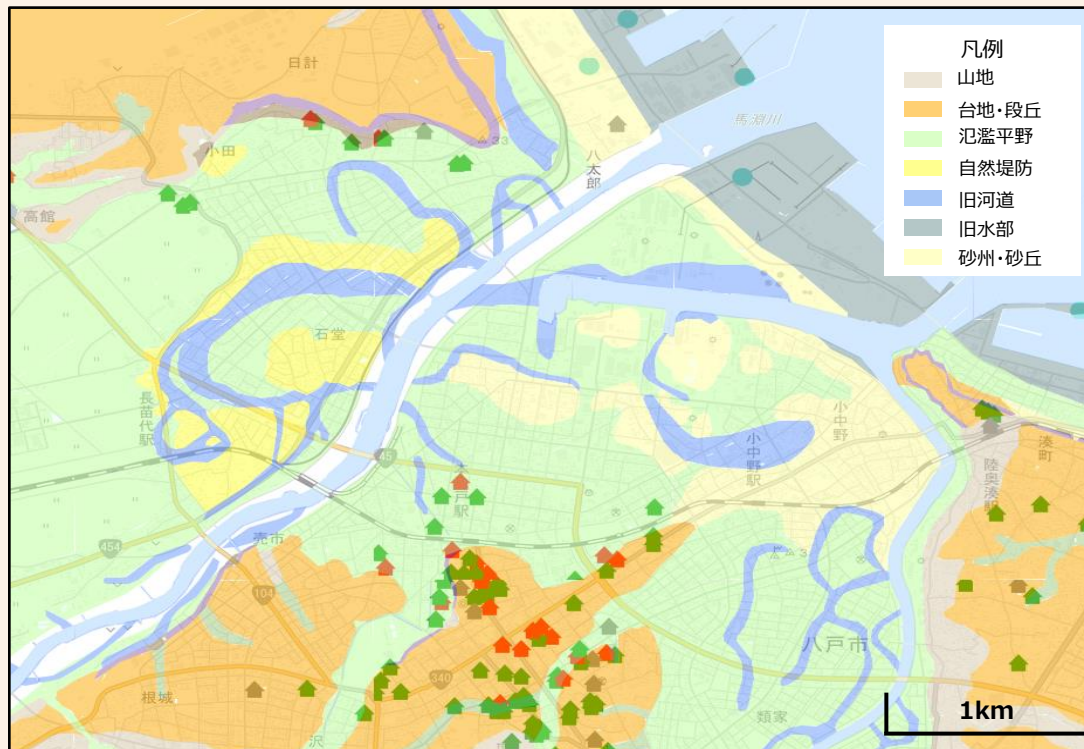
※この図はすべての被害状況を表しているわけではありません。



地形分類(自然地形)



地形分類(自然地形)(拡大図)



地形分類と重ねてみると、どのような土地で液状化が発生しているのか、よくわかるよ。
建物の倒壊はどうだろう？

海を埋め立てたところは、地震のゆれで、地震のゆれで地面が液状化しやすいんだ。
地面が液状化すると地下にあるマンホールが浮き上がったり、建物が傾くこともあるから注意が必要だよ。
建物の倒壊は、建築年代や材質にも関わってくるから、地形の観点だけから被害の多さを説明することはできないんだ。

